

地域住民・市民団体との連携

7. 市民と協働で行う商店街づくり

千歳市・千歳市商店街振興組合連合会

■ 地域の概要・現状

千歳市は、新千歳空港や自衛隊駐屯地を有し、人口が47年間増加を続ける一方、札幌市へのアクセスが容易な立地から、買い物客の流出などの問題を抱えている。

市内には千歳駅周辺を中心に6つの商店街振興組合と1つの振興会があるが、経営者の高齢化や後継者難を要因とする閉店も増えている。

■ 市民協働事業「商店街探検ツアー」

市には、市民がまちづくりに参加する協働事業制度がある。市の提案事業または市民団体から市へ提案した事業を実施することで、地域の課題解決や市民の満足度向上につなげている。

この市民協働事業の一つとして、平成28年度から「商店街探検ツアー」が開催されている。商店街の有志を中心としたグループが主催し、子どもに商店街を知ってもらう取組として夏休みに実施している。参加した親子が商店街に隠されたキーワードを探すとともに、商店街の個店で職業体験のミッションをクリアすることを目指す。参加者には市内でつくられたお菓子などの景品のほか、千歳産の食材を使った「千歳バーガー」が振る舞われた。



[商店街探検ツアーに参加する親子]

■ ちとせタウンプラザでのまちゼミ

市民協働事業では、商店街の個店がその専門知識・技術を活用したミニ講座を行う「得する街ゼミ」も実施された。

平成28年に商業施設から市民や観光客の方々が集う交流施設として改装オープンした「ちとせタウンプラザ」を会場に、市・2つの商店街（仲の橋通商店街、ニューサンロード商店街）・タウンプラザを拠点に中心市街地活性化に取り組む市民団体「みんなの椅子」が連携し、平成29年7月から平成30年2月まで、週末を中心に全20回にわたって開催した。

また、11月には、千歳市商店街振興組合連合会が「千歳まちゼミ」を市内の全商店街で実施し、店を知るきっかけ・商店街のファンづくりにつなげている。

まちゼミについて

愛知県岡崎市で始まった“得する街のゼミナール”の略称。お店が講師となり、プロならではの知識や情報・コツを無料でお客様に伝える少人数制のゼミ。

岡崎まちゼミの会では開催にあたっての研修や指導を行っている。全国各地での開催実績があり、北海道ではこれまで18地域で開催されている。

■ 今後の課題・展望

「千歳まちゼミ」については、受講者の満足度は高く、参加店からは次回も参加したいという声があった一方、講座テーマと受講者ニーズの不一致、参加店数が目標に届かないなど課題が見られた。

ニューサンロード商店街では、事務イスを使ったレースイベント「イス-1グランプリ」が道内で初めて開催されるなど、特色ある催しも注目されており、今後も、市・商店街・住民が協働したイベントの実施を通して、地域住民に愛される商店街を目指していく。

取材先

■千歳市商店街振興組合連合会（千歳市幸町1丁目9番地）

TEL 0123-26-7007

HP <http://www.chi-ren.jp/>

■千歳市産業振興部商業労働課（千歳市東雲町2丁目34番地）

TEL 0123-24-0606